

安全データシート

作成日：2005年2月25日
改訂日：2020年1月30日

<p>1. 製品及び会社情報</p> <p>製品名 会社名 住所 担当部門 電話番号 FAX番号 緊急連絡先 整理番号</p>	<p>オリーブ油 米山薬品工業株式会社 大阪市中央区道修町2丁目3番11号 品質保証室 (06)6393-4001 (06)6396-7714 米山薬品工業(株)三国工場 AE0152</p>
<p>2. 危険有害性の要約</p> <p>GHS分類 物理化学的危険性 ラベル要素 絵表示又はシンボル 注意喚起語 危険有害性情報 注意書き GHS分類に該当しない他の危険有害性 物理化学的危険性 健康に対する有害性 環境に対する有害性</p>	<p>引火性液体：区分外</p> <p>なし なし なし なし</p> <p>着火源に接すると燃焼する液体である。 通常の使用条件下では毒性、刺激性は無い。 該当情報なし。</p>
<p>3. 組成、成分情報</p> <p>化学物質・混合物の区別 化学名 別名 化学式 化学物質を特定できる一般的な番号 成分及び含有量 官報公示整理番号(化審法、安衛法)</p>	<p>化学物質 オリーブ油 オリーブオイル 該当情報なし。 CAS RN:8001-25-0 オリーブ油(オレイン酸を主成分とする脂肪酸グリセライド) 該当しない。</p>
<p>4. 応急措置</p> <p>吸入した場合 皮膚に付着した場合 目に入った場合 飲み込んだ場合</p>	<p>直ちに新鮮な空気のある場所へ移動すること。 気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。 製品に触れた部分を水で洗い流した後、石鹼を用いて十分に洗浄すること。 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。 水で数分間、注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用して容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 目の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。 口の中をすすぐこと。 気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。</p>
<p>5. 火災時の措置</p> <p>消火剤 使ってはならない消火剤 特有の危険有害性 特有の消火方法 消火を行う者の保護</p>	<p>小火災：二酸化炭素、粉末消火剤、散水、泡消火剤 大火災：散水、噴霧水、泡消火剤 棒状注水 可燃性である。 危険でなければ火災区域から容器を移動する。 移動不可能な場合、容器及び周囲に散水して冷却する。 消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。 消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。</p>
<p>6. 漏出時の措置</p> <p>人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 環境に対する注意事項 回収、中和 封じ込め及び浄化の方法・機材 二次災害の防止策</p>	<p>漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。 直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。 関係者以外の立ち入りを禁止する。 作業者は適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。 河川等に排出され、環境へ影響を起ささないように注意する。 少量の場合、乾燥土、砂や不燃材料で吸収し、あるいは覆って密閉できる空容器に回収する。 大量の場合、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いて回収する。 危険でなければ漏れを止める。 すべての発火源を速やかに取除く。</p>
<p>7. 取扱い及び保管上の注意</p> <p>取扱い 技術的対策 局所排気・全体換気 安全取扱い注意事項 接触回避 保管</p>	<p>「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。 局所排気装置を設置する。 容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずるなどの取扱いをしてはならない。 酸化剤との接触を避ける。</p>

技術的対策	保管場所は壁、柱、床を耐火構造とし、かつ、はりを不燃材料で作ること。
適切な保管条件	容器を密閉すること。 直射日光を避け、換気の良い冷しい所で保管すること。 施錠して保管すること。
混触危険物質 容器包装材料	酸化剤 ガラス、スチール
8. 暴露防止及び保護措置	
許容濃度等 管理濃度 日本産業衛生学会 ACGIH 設備対策	未設定 未設定 未設定 この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。
保護具 呼吸器の保護具 手の保護具 目の保護具 皮膚及び身体の保護具 衛生対策	適切な呼吸器保護具を着用すること。 適切な保護手袋を着用すること。 保護眼鏡を着用すること。 適切な顔面用の保護具を着用すること。 取扱い後はよく手を洗うこと。
9. 物理的及び化学的性質	
物理状態	液体
色	淡黄色
臭い	特異臭
融点・凝固点	該当情報なし。
沸点、初留点及び沸騰範囲	該当情報なし。
可燃性	着火源に接すると燃焼する液体である。
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	該当情報なし。
引火点	325°C
自然発火温度	該当情報なし。
分解温度	該当情報なし。
pH	該当情報なし。
動粘性率	該当情報なし。
溶解度	該当情報なし。
n-オクタノール/水分配係数	該当情報なし。
蒸気圧	該当情報なし。
密度及び/又は相対密度	0.908~0.914 (25°C)
蒸気密度	該当情報なし。
爆発限界	該当情報なし。
10. 安定性及び反応性	
安定性	通常の実取扱いにおいては安定である。
危険有害反応可能性	通常の実条件下では、危険有害な反応は起こらない。
避けるべき条件	熱、高温、日光、裸火・スパーク・静電気・その他の着火源との接触
混触危険物質	酸化剤
危険有害な分解生成物	該当情報なし。
11. 有害性情報	
急性毒性	該当情報なし。
皮膚腐食性・刺激性	該当情報なし。
眼に対する重篤な損傷・刺激性	該当情報なし。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	該当情報なし。
生殖細胞変異原性	該当情報なし。
発がん性	該当情報なし。
生殖毒性	該当情報なし。
特定標的臓器・全身毒性-単回暴露	該当情報なし。
特定標的臓器・全身毒性-反復暴露	該当情報なし。
誤えん有害性	該当情報なし。
12. 環境影響情報	
生態毒性	短期(急性) 該当情報なし。 長期(慢性) 該当情報なし。
残留性・分解性	該当情報なし。
生態蓄積性	該当情報なし。
土壌中の移動性	該当情報なし。
オゾン層に対する有害性	該当情報なし。
13. 廃棄上の注意	
化学品、汚染容器及び包装の安全でかつ環境上望ましい廃棄、またはリサイクルに関する情報	都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物業者に委託して処理する。 燃焼法：ケイ藻土等に吸収させて開放型の焼却炉で少量ずつ焼却する。または焼却炉の火室へ噴霧し焼却する。
14. 輸送上の注意	
国連番号	—
品名(国連輸送名)	—
国連分類	—

容器等級
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策

国内規制がある場合の規制情報

陸上輸送
海上輸送
航空輸送
応急措置指針番号

15. 適用法令
化学物質管理促進法(PRTR法)
毒物及び劇物取締法
労働安全衛生法
消防法

16. その他の情報
引用文献

—
運搬に際しては容器に漏れないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷くずれの防止を確実にを行う。

消防法の規制に従う。
船舶安全法の規制に従う。
航空法の規制に従う。
—

指定化学物質に該当しない。
毒物及び劇物に該当しない。
名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物に該当しない。
危険物に該当しない。

16615の化学商品（化学工業日報社）

記載内容のうち、含有量、物理／化学的性質等の数値は保証値ではありません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・情報 データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅した訳ではありませんので取り扱いには十分注意して下さい。